

10-3. 警戒アラートの運用

事例1 スペイン

- 気象局 (AEMET) が「**高温警戒アラート**」を運営し、カルロス3世保健研究所の国立疫学センター (CNE) が暑熱死亡リスクに関わるシステム「**MoMo**」を運営。
- 保健省公衆衛生・公平性総局が主導する熱中症対策の専門委員会は、上記の情報を総合して警戒体制を最適化。

高温警戒アラート

- アラートは4段階。アラート発表の閾値となる気温は気候の類似性で182に細分化された地域毎に異なる。発令基準の見直しは5,6年に一度、過去10年分の統計に基づき行われている。
- アラート発表時には自治州への通知の他、**2023年からはホームドクターや救急部局に通知**している。

警戒レベル0： リスクなし (緑色)

警戒レベル1： 低リスク (黄色)

警戒レベル2： 中リスク (オレンジ色)

警戒レベル3： 高リスク (赤色)

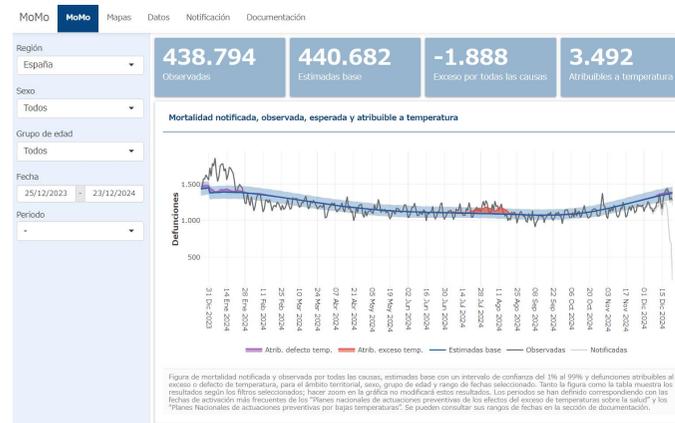


アラート発表の閾値となる気温は23.9℃～40.4℃と幅がある。

スペイン政府ウェブサイト及びヒアリング調査 (スペイン政府保健省) より

MoMo (日次死亡率のモニタリング・ユニット)

- 2004年以降、過去の傾向に基づき**全ての死因による死亡者数と暑熱による超過死亡者数を推計し日々の死亡者数をモニタリング**。
- 統計モデルを用いて、地域別・性別・年齢グループ別で日毎の計算が行われている。年齢グループは0～14歳、15～44歳、45～64歳、65～74歳、75～84歳、85歳以上の6グループである。
- 結果はデータの該当日の2日後に、ウェブページで公表。



MoMoウェブサイトのスクリーンショット

カルロス3世保健研究所国立疫学センター (CNE) . MoMo. (オンライン)
(引用日: 2025年2月6日.) https://momo.isciii.es/panel_momo/#section-momo